資料2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和1年12月　日

協議会名：　周南市地域公共交通会議

評価対象事業名：　地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
周南市	大道理・須々万線 （河内～夢求の里交流館～高原病院）	・地元協議会との意見交換を踏まえ、平成31年4月から1便増便し、乗りこぼしの発生を抑制を図った。 ・平成31年4月から回数乗車券や障がい者割引などを導入し、さらなる利用促進を行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	▸目標達成状況 設定目標1ヶ月当たり利用者74人に対し、106人／月であり目標を達成した。 ▸効果達成状況 地域サロンの送迎用としての利用が定着したことにより、もやい便の利用者が増加している。 また、1便増便したことにより、利便性が向上し利用者の増加につながっている。	・目的地である須々万地区では、ここ数年間で、ドラッグストアや個人病院などが相次いでオープンしており、そうした施設への乗り入れを含めた乗降場所の見直しを行う。
周南市	八代・高水線 （大藤谷～鶴いこいの里～ゆめプラザ熊毛）	・アンケート結果を踏まえ地元協議会との協議により、午前中を充実させた運行時間や地区内の乗降ルールの見直しを行い、利便性の向上を図った。 ・地元協議会と連携した「買い物ツアー」を実施し、新規利用者の掘り起こしを行った。 ・隣接自治体が導入した路線バスに代わるコミュニティ交通へ接続するため運行ルートの見直しを行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B	▸目標達成状況 設定目標1ヶ月当たり利用者165人に対し、94人／月であった。 ▸効果達成状況 平成30年7月豪雨災害による折り返し運行が原因で離れた定期利用者が戻らない。	・利用者などから要望があるスーパーへの乗り入れを検討する。 ・利便性の向上を図るため地区内のミーティングポイントの見直しを検討する。 ・隣接自治体のコミュニティ交通へ接続したルートの利便性をPRし、新規利用者の獲得を図る。

別添１－２

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和1年12月　日

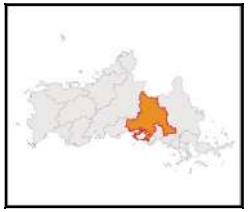
協議会名：	周南市地域公共交通会議

評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）	本市は山口県の東南部に位置し、北の中国山地を背に、南に瀬戸内海を望む面積656.29㎢の広大な市域を有する、人口約14万5千人の都市である。JR徳山駅を中心に市街地が広がっており、鉄道・路線バス・航路・コミュニティ交通によって、市街地とその周辺部、中山間部、島しょ部を結ぶ公共交通網が形成されている。 その中でも特に、過疎化・高齢化が進行する中山間部において、スーパーや病院などの生活利便施設が多く立地している地域への移動手段を確保することは、地域の活力を維持していくために必要不可欠であり、既存バス路線の見直しと合わせた効率的で、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通確保維持事業に取り組んでいる。 また、フィーダー系統と地域間幹線系統のスムースな接続により、中山間部と中心市街地等のアクセス性の確保を図り、生活の質の向上と外出機会の創出を目指している。

別添2

令和１年度　地域公共交通確保維持改善事業　事業評価
周南市地域公共交通協議会
生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）の概要



周南市の概要

・平成15年４月に2市2町が合併
・人口　144,842人（平成27年度国勢調査）
・面積　656.29㎢

周南市地域公共交通会議の構成員

市民・利用者代表，学識経験者，交通事業者及び労組代表者、地方自治体（県・市）、警察、道路管理者、山口運輸支局、福祉関係事業者

概　要

本市は山口県の東南部に位置し、北の中国山地を背に、南に瀬戸内海を望む面積656.29㎢の広大な市域を有する、人口約14万5千人の都市である。JR徳山駅を中心に市街地が広がっており、鉄道・路線バス・航路・コミュニティ交通によって、市街地とその周辺部、中山間部、島しょ部を結ぶ公共交通網が形成されている。

その中でも特に、過疎化・高齢化が進行する中山間部において、スーパーや病院などの生活利便施設が多く立地している地域への移動手段を確保することは、地域の活力を維持していくために必要不可欠であり、既存バス路線の見直しと合わせた効率的で、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通確保維持事業に取り組んでいる。

また、フィーダー系統と地域間幹線系統のスムースな接続により、中山間部と中心市街地等のアクセス性の確保を図り、生活の質の向上と外出機会の創出を目指している。

協議会の主な取り組み

・地域公共交通網形成計画に係る事業の実施
・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編検討
・交通不便地区におけるフィーダー交通の導入検討
・公共交通結点における待合環境の整備
・地域公共交通再編方針の策定

協議会における検討

地域公共交通会議の開催状況　　6回開催
・第2回（平成30年11月５日）　市街地循環線の運行について
・第3回（平成31年2月25日）　コミュニティ交通の見直し及び自家用有償旅客運送の変更登録の申請について　等
・第１回（令和１年５月17日）　H30年度決算・H31年度予算について等
・第2回（令和１年８月26日）　バス路線の見直しについて　等

【文書協議】
・第2回（平成30年12月26日）平成30年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
・第3回（平成31年2月28日）平成31年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について

周南市地域公共交通協議会　事業の評価

定量的な目標・効果

（目標）
　〇大道理・須々万線　1か月当たりの利用者数を74人以上とする
　　※目標はH28年10月～H29年9月までの利用実績の月平均から設定。H30年度目標値より増加
　〇八代・高水線　　1か月当たりの利用者数を165人以上とする
　　※目標はH27年11月～H27年12月までの運行エリア内の路線バスの乗降数から設定
（効果）　主に一人暮らしの高齢者や障がい者の病院や商業施設などへの移動手段を確保するとともに、外出機会を増やし心身の健康を維持することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

・1便増便し、乗りこぼしの発生を抑制を図った。（大道通）
・午前中を充実させた運行時間や地区内の乗降ルールの見直しを行い、利便性の向上を図った。（八代）
・隣接自治体が導入した路線バスに替わるコミュニティ交通へ接続するため運行ルートの見直しを行った。（八代）

実施した利用促進策

・回数乗車券や障がい者割引などを導入し、さらなる利用促進を行った。（大道通）
・地元協議会と連携した「買い物ツアー」を実施し、新規利用者の掘り起こしを行った。（八代）

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・利用が伸び悩む八代・高水線について、運行車両内で利用者への聞き取り調査を行い、運行時間や地区内の乗降ルールの見直しを行い、利便性の向上を図った。

地域住民の意見の反映

（平成30年11月30日）大道里をよくする会 互助部会
　平成31年4月からの割引運賃の導入と利用者増加に伴う運行便数の拡大に向け、調整を図ることとなった。
（平成30年11月16日）八代地区生活交通検討協議会
　運行ダイヤや運行ルールの見直し、木曜便の運行エリア指定の廃止について意見交換を行った。
（平成31年2月6日）八代地区生活交通検討協議会
　前回協議の見直し内容について意見交換を行い、平成31年4月からの運用に向け調整を進めていくこととなった。

周南市地域公共交通協議会　事業の評価

事業実施の適切性

大道理・須々万線
　計画通り事業は適切に実施された。利用者数は目標値を大きく上回っている。
八代・高水線
　計画通り事業は適切に実施されていると判断するが、平成30年7月豪雨災害時の折り返し運行が原因で離れた定期利用者が戻らないため計画目標には達しなかった。

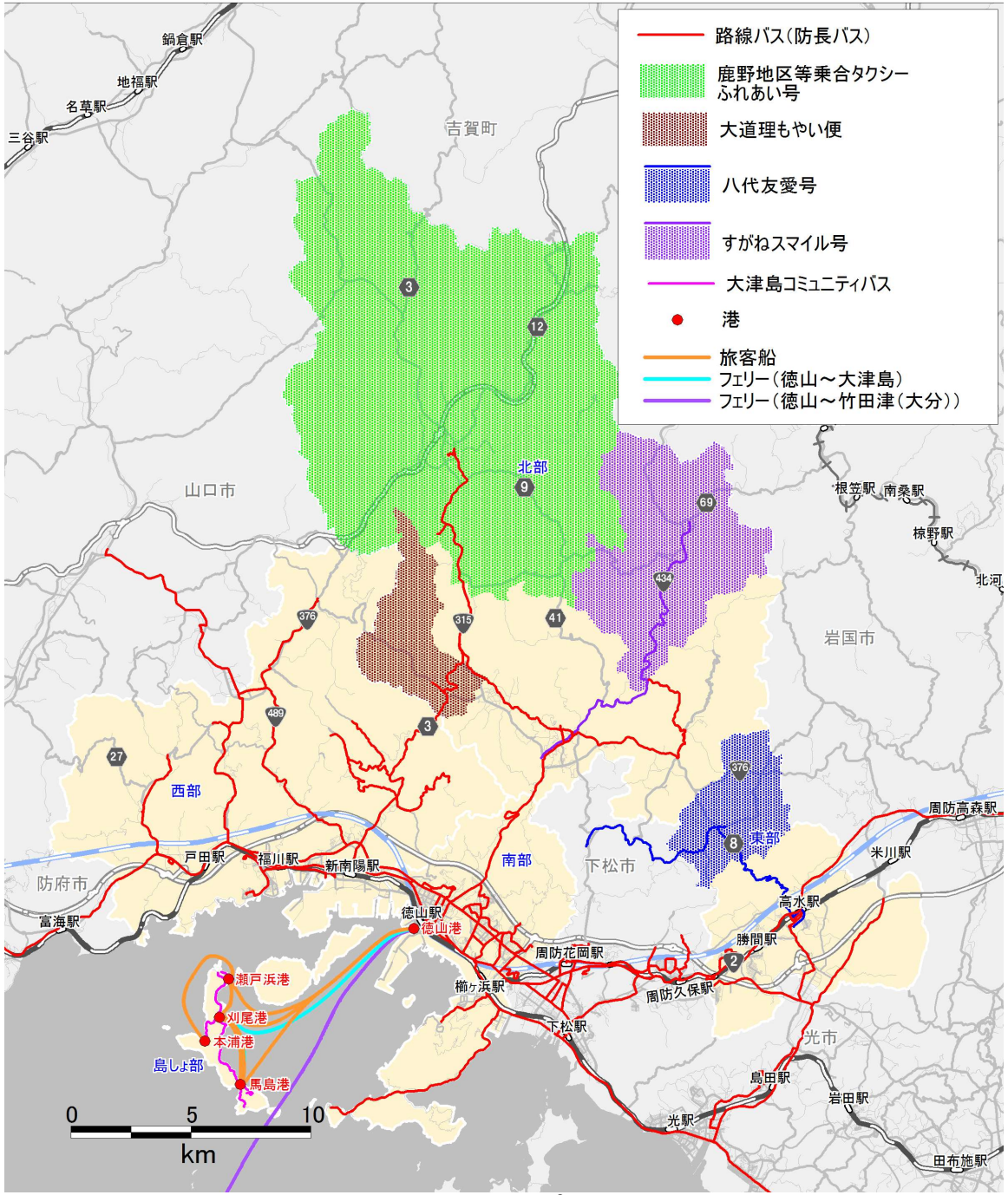
目標・効果達成状況

大道理・須々万線
（目標）1か月当たりの平均利用者数は106人で、目標値74人以上を達成した。
（効果）地域サロンの送迎用としての利用が定着したことにより、もやい便の利用者が増加している。 また、1便増便したことにより、利便性が向上し利用者の増加につながっている。
八代・高水線
（目標）1か月当たりの平均利用者数は95人で、目標値165人以上に達しなかった。
（効果）平成30年7月豪雨災害時の折り返し運行が原因で離れた定期利用者が戻らない。

事業の今後の改善点

大道理・須々万線
・目的地である須々万地区では、ここ数年間で、ドラッグストアや個人病院などが相次いでオープンしており、そうした施設への乗り入れを含めた乗降場所の見直しを行う。
八代・高水線
・利用者などから要望があるスーパーへの乗り入れを検討する。
・利便性の向上を図るため地区内のミーティングポイントの見直しを検討する。
・隣接自治体のコミュニティ交通へ接続したルートの利便性をPRし、新規利用者の獲得を図る。

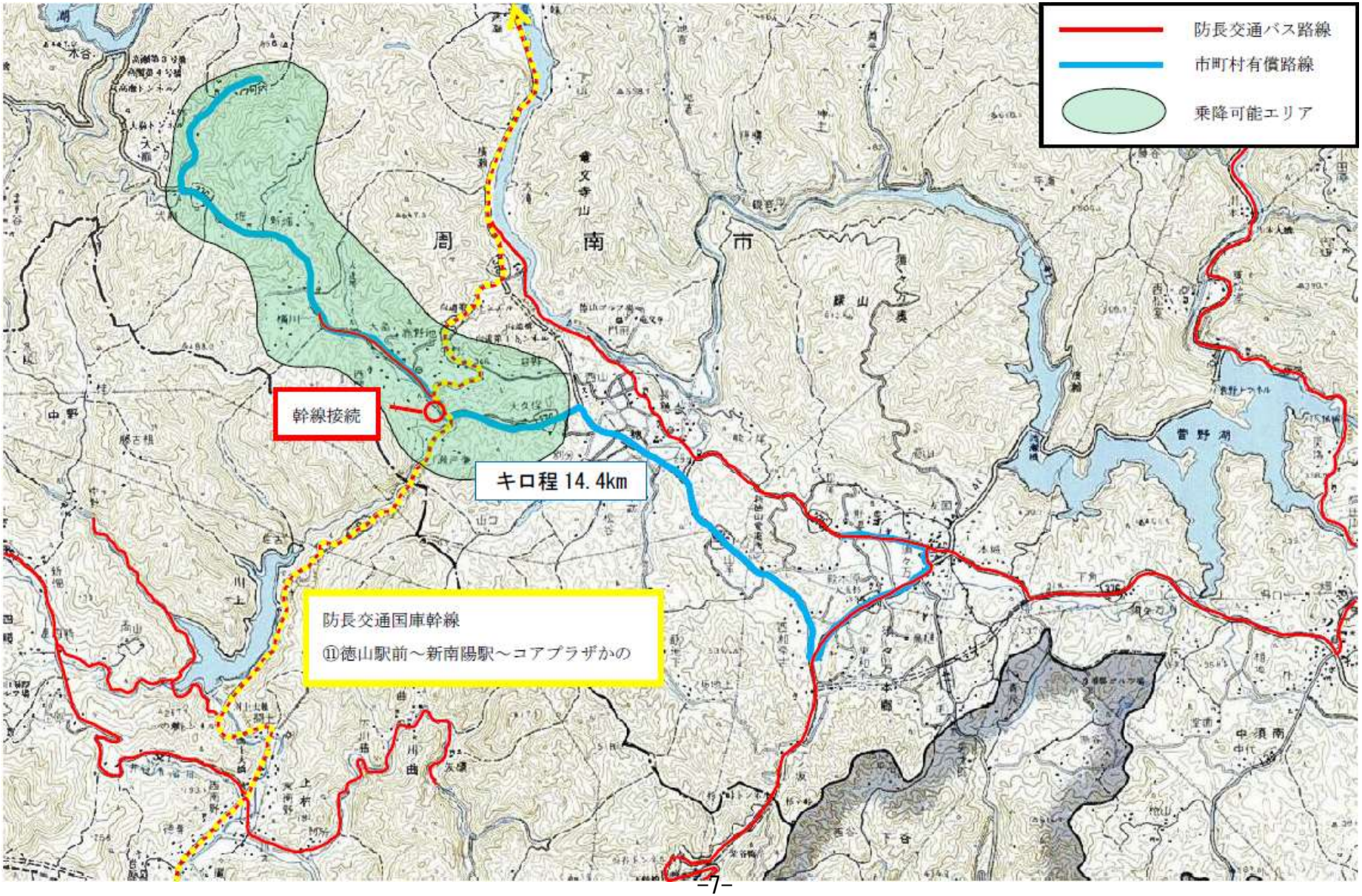
交通体系図　別紙



路線バス（防長バス）
鹿野地区等乗合タクシー
ふれあい号
大道理もやい便
八代友愛号
すがねスマイル号
大津島コミュニティバス
港
旅客船
フェリー（徳山～大津島）
フェリー（徳山～竹田津（大分））
鍋倉駅
地福駅
名草駅
三谷駅
吉賀町
山口市
北部
根笠駅
南桑駅
椋野駅
北河
岩国市
西部
南部
東部
下松市
防府市
戸田駅
福川駅
新南陽駅
富海駅
徳山駅
徳山港
周防花岡駅
櫛ヶ浜駅
下松駅
周防久保駅
勝間駅
高水駅
米川駅
周防高森駅
瀬戸浜港
刈尾港
本浦港
島しょ部
馬島港
光市
島田駅
岩田駅
光駅
田布施駅
0
5
10
km

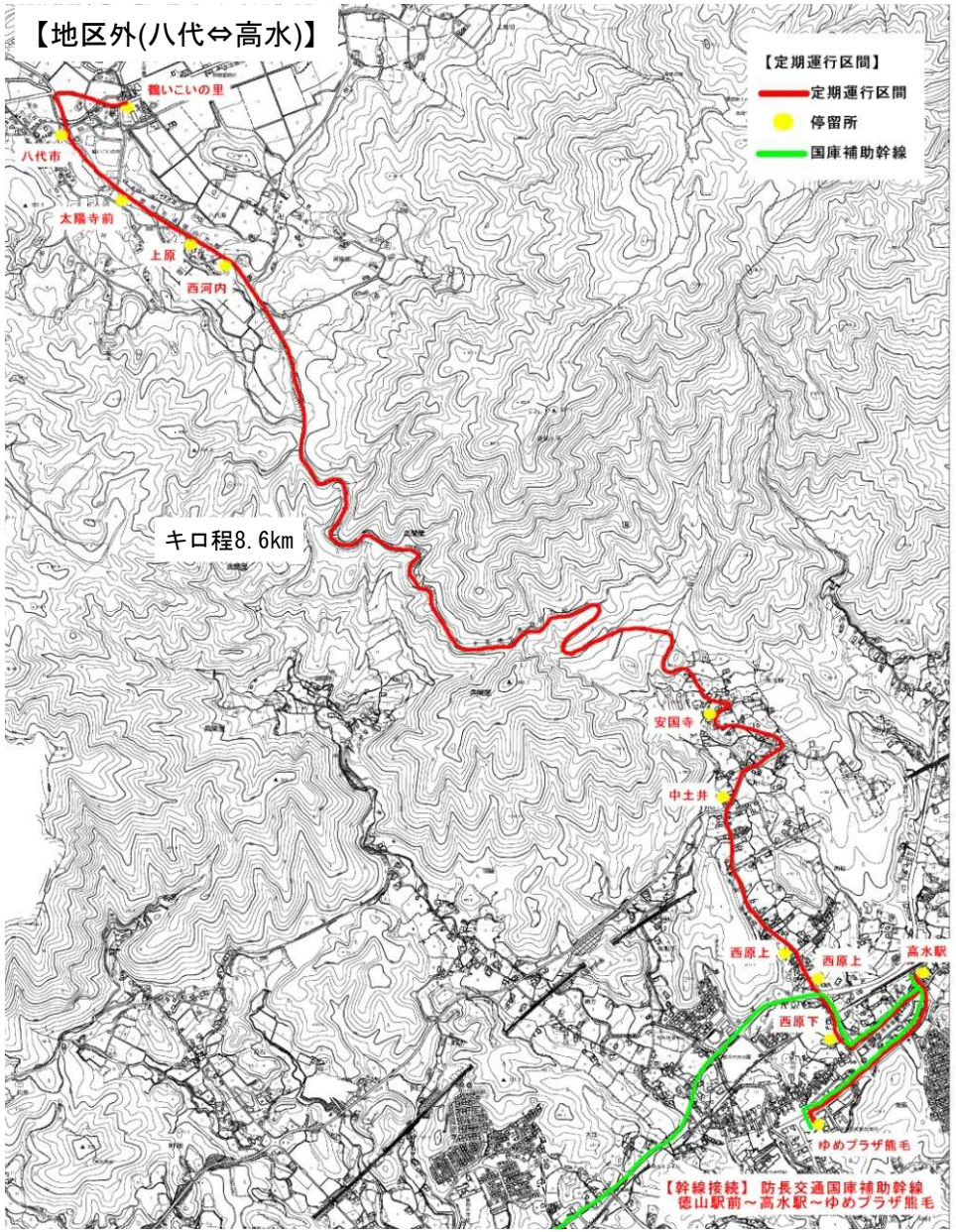
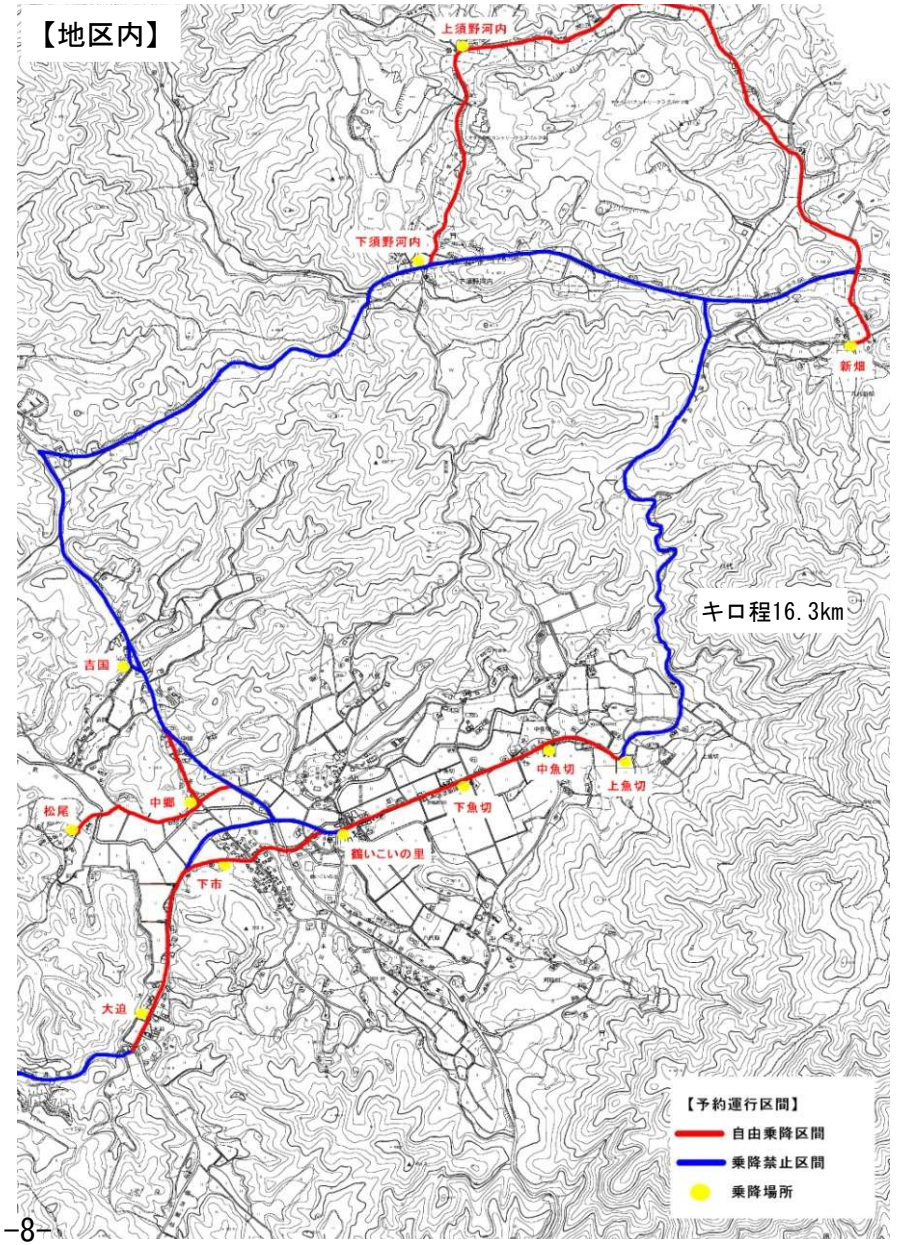
運行系統図　別紙

系統名	大道理・須々万線 「もやい便」
運行形態	市町村運営有償運送「交通空白輸送」
運行日・便数	月・水・金曜日（祝日、8/13～8/16、12/30～1/5は運休） ・ 1日10便（往路5便、復路5便）
運賃	地区内片道　100円　地区外（大道理⇔須々万）片道　200円



系統名	八代・高水線 「友愛号」
運行形態	市町村運営有償運送「交通空白輸送」
運行日・便数	月～土曜日（祝日、12/29～1/3は運休） ・ 1日6便（往路3便、復路3便）
運賃	地区内片道 100円　地区外（八代⇔高水）片道 300円

【地区外(八代⇔高水)】



【地区内】